

2022年3月期

# 決算説明資料

2022年5月13日



株式会社富士ピー・エス

証券コード：1848

# 2022年3月期 決算ハイライト

---

## ● 2022年3月期

- 外部環境：建設投資は62.5兆円と微増となる見通し。当社加盟のプレストレスト・コンクリート建設業協会の受注実績は2020年度3,300億円に対し、本年度は増加の見通し、新設から維持補修・更新市場へシフト。
- 事業状況：2021年10月に、静岡県及び首都圏を中心に高速道路や橋梁等のコンクリート構造物の耐震補強、補修事業を手掛ける駿河技建(株)の全株式を取得し、子会社化。
- 連結業績：駿河技建(株)を連結子会社としたことに伴い、第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しており、前連結会計年度との比較は行っていない。また、連結業績について、連結子会社の占める割合が低く、個別業績が大きく影響。
- 個別業績：受注高は土木事業の大型案件の受注により好調、売上高は手持工事が概ね順調に進捗した一方で、一部工事において工程遅延が発生したことにより微減、損益については前期の過去最高益に対し反動減となり2期ぶりの減益。
- 配当予想：1株当たり9円、配当性向20.9%、ROE 8.1%

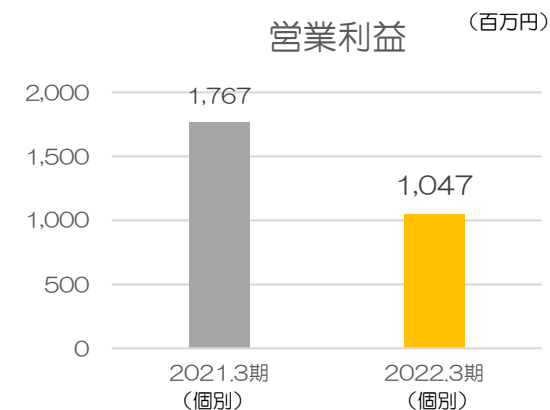
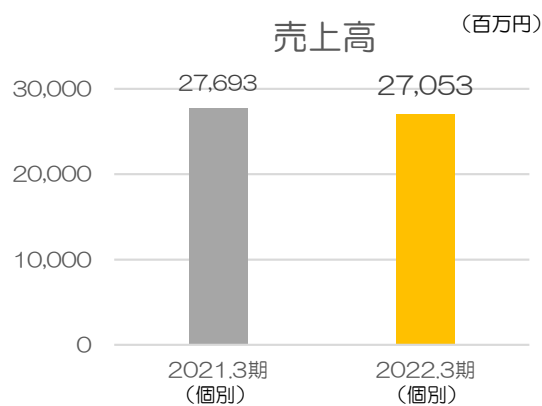
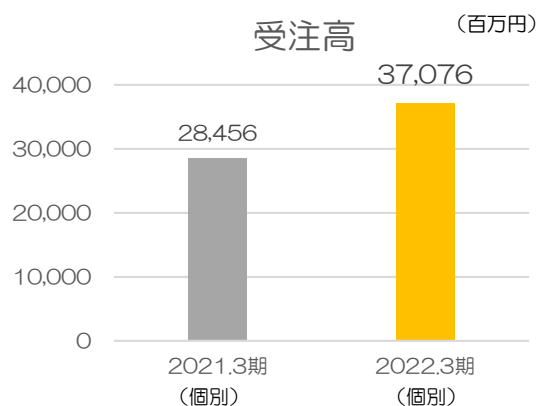


# 2022年3月期 業績の概要（前期比較）

土木事業の受注が好調、売上高は一部工事で工程遅延が発生したことにより微減

（単位：百万円）

連結	2021/3期	2022/3期	個別	2021/3期	2022/3期	前期比		コメント
						増減額	増減率	
受注高	—	37,691	受注高	28,456	37,076	8,619	30.3%	土木事業・建築事業ともに好調 特に土木事業の大型案件の受注により大幅に増加
売上高	—	27,301	売上高	27,693	27,053	△640	△2.3%	手持工事は概ね順調に進捗したが、一部工事において作業条件見直しやコロナの影響で工程遅延が生じたことによる微減
売上総利益 （売上総利益率）	— （—%）	4,271 （15.6%）	売上総利益 （売上総利益率）	4,751 （17.2%）	4,225 （15.6%）	△526	△11.1%	売上高の減少及び工事利益率が低下し減益
営業利益 （営業利益率）	— （—%）	1,048 （3.8%）	営業利益 （営業利益率）	1,767 （6.4%）	1,047 （3.9%）	△720	△40.8%	売上総利益の減益及び販売費及び一般管理費の増加による減益（前期は過去最高益）
経常利益	—	1,111	経常利益	1,730	1,102	△627	△36.3%	同上
親会社株主に帰属する当期純利益	—	775	当期純利益	1,327	767	△559	△42.2%	同上

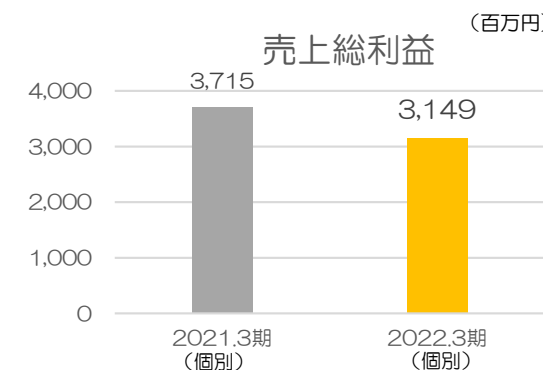
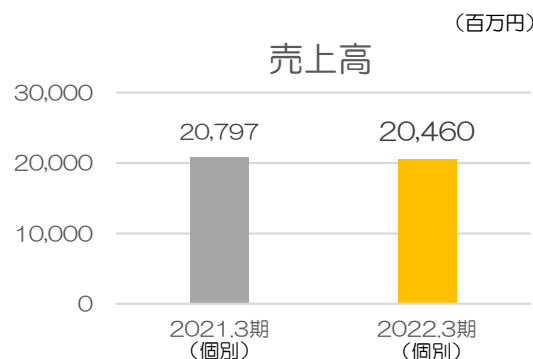
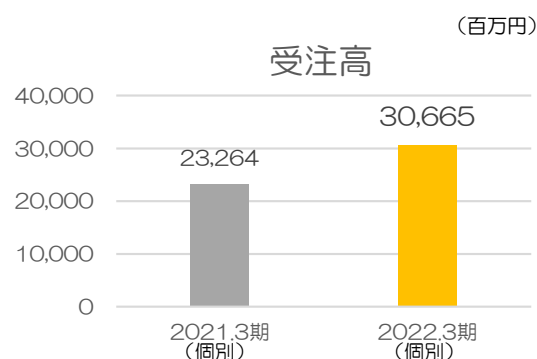


# セグメント別業績（土木事業）

受注高は大型案件の契約により好調、売上高は一部現場にて工程遅延が発生したことにより微減

（単位：百万円）

連結	2021/3期	2022/3期	個別	2021/3期	2022/3期	前期比		コメント
						増減額	増減率	
受注高	—	31,279	受注高	23,264	30,665	7,400	31.8%	NEXCOの大型工事案件などを受注したことにより大幅に増加
売上高	—	20,708	売上高	20,797	20,460	△337	△1.6%	手持工事は、概ね順調に進捗したが、一部現場において作業条件見直しによる工程遅延が生じたことなどにより減収
売上総利益 (売上総利益率)	— (—%)	3,195 (15.4%)	売上総利益 (売上総利益率)	3,715 (17.9%)	3,149 (15.4%)	△566	△15.2%	売上高の減少及び工事利益率が低下し減益



## 主な受注工事

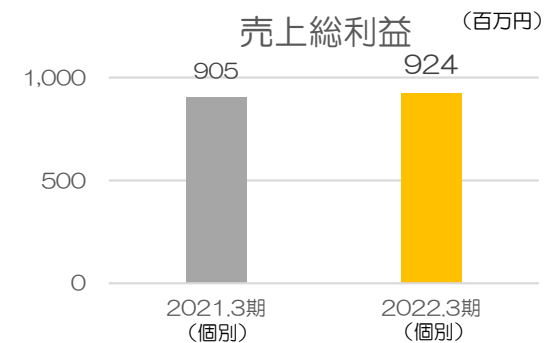
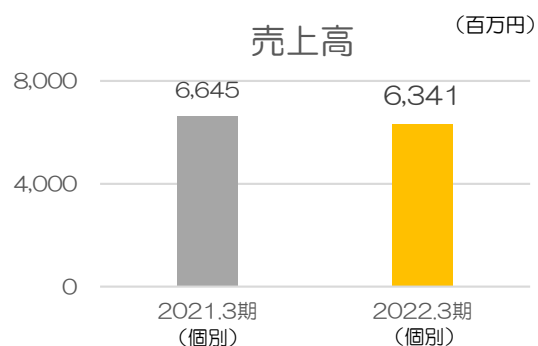
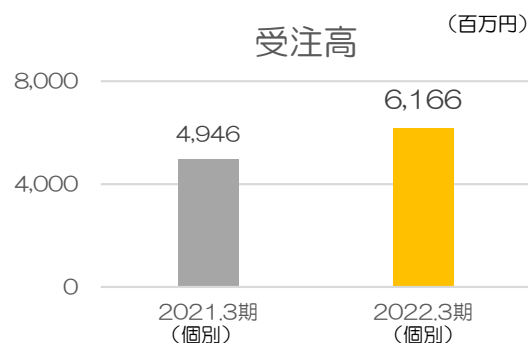
工事名称	発注者	工事概要
令和2年度 佐世保道路 佐世保高架橋（拡幅）工事（その1）	西日本高速道路（株）	西九州自動車道（佐世保道路）4車線化事業
令和3年度安芸バイパス熊野川高架橋第2PC上部工事	国土交通省中国地方整備局	一般国道2号線（安芸バイパス）橋梁新設工事
大阪モノレール PC軌道桁製作・架設工事	大阪府、大阪モノレール(株)	大阪モノレール 門真市～瓜生堂間延伸事業

# セグメント別業績（建築事業）

受注高はマンション事業の契約が順調、売上高はコロナの影響で一部工事に遅延が発生したことにより減収

（単位：百万円）

連結	2021/3期	2022/3期	個別	2021/3期	2022/3期	前期比		コメント
						増減額	増減率	
受注高	—	6,166	受注高	4,946	6,166	1,219	24.7%	首都圏及び近畿・中部圏のマンション事業の契約が順調に進み増加
売上高	—	6,341	売上高	6,645	6,341	△303	△4.6%	首都圏の建設現場で新型コロナウイルス感染症の影響による工程遅延が発生したことなどにより減収
売上総利益 (売上総利益率)	— (—%)	924 (14.6%)	売上総利益 (売上総利益率)	905 (13.6%)	924 (14.6%)	18	2.0%	工事採算性の改善に伴い、工事利益率好転



## 主な受注工事

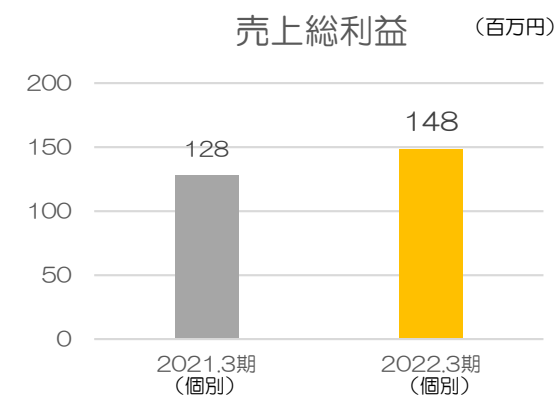
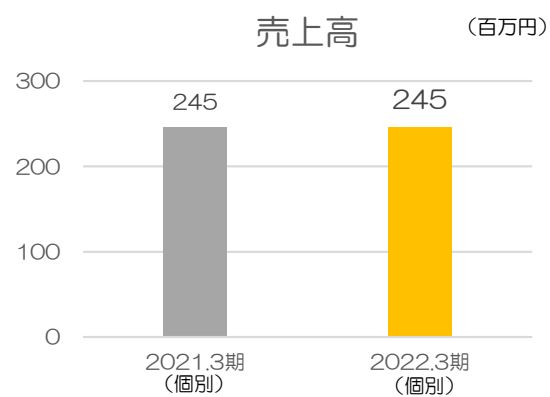
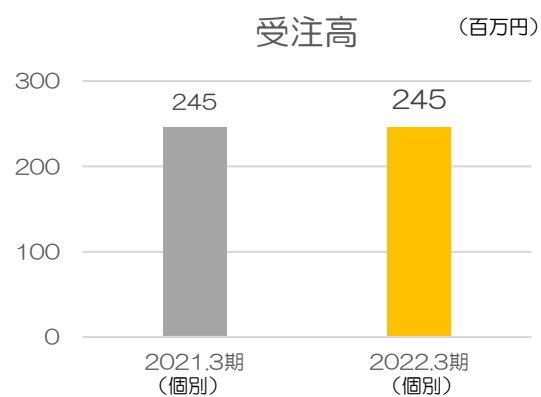
工事名称	発注者	工事概要
晴海5丁目西地区5-6街区タワー棟計画	三井住友建設(株)	新築マンション工事のFR板製作・運搬
大阪府中央区久太郎FR	(株)ハセック	新築マンション工事のFR板製作・運搬
グランドメゾン浄水2期E棟	清水建設(株)	新築マンション工事のFR板製作・運搬

# セグメント別業績（不動産賃貸事業）

テナントの入居率は堅調に推移

（単位：百万円）

連結	2021/3期	2022/3期	個別	2021/3期	2022/3期	前期比		コメント
						増減額	増減率	
受注高	—	245	受注高	245	245	△0	△0.3%	受注高、売上高、売上総利益ともに堅調
売上高	—	245	売上高	245	245	△0	△0.3%	
売上総利益 (売上総利益率)	— (—%)	148 (60.7%)	売上総利益 (売上総利益率)	128 (52.3%)	148 (60.7%)	20	15.7%	



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産合計  
27,786



2022.3期

## 主な内訳

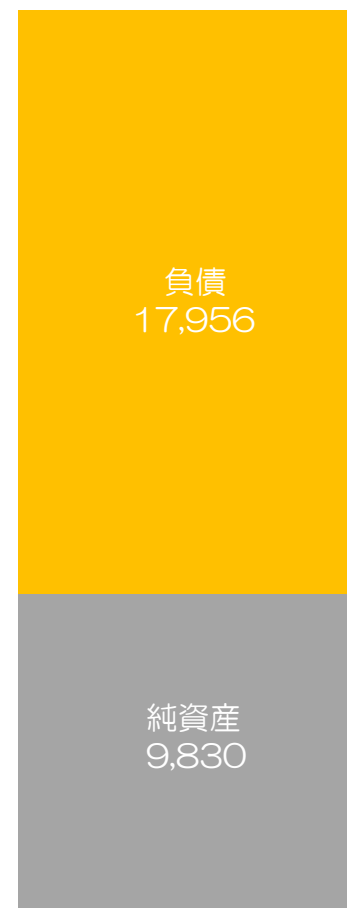
### 流動資産

現金預金	3,255
受取手形・完成工事	14,828
工事未収入金等及び	
契約資産	
未収入金	442

### 固定資産

建物・構築物等	1,852
機械、運搬具及び	
工具器具備品	1,641
土地	3,529

負債・純資産合計  
27,786



2022.3期

## 主な内訳

### 負債

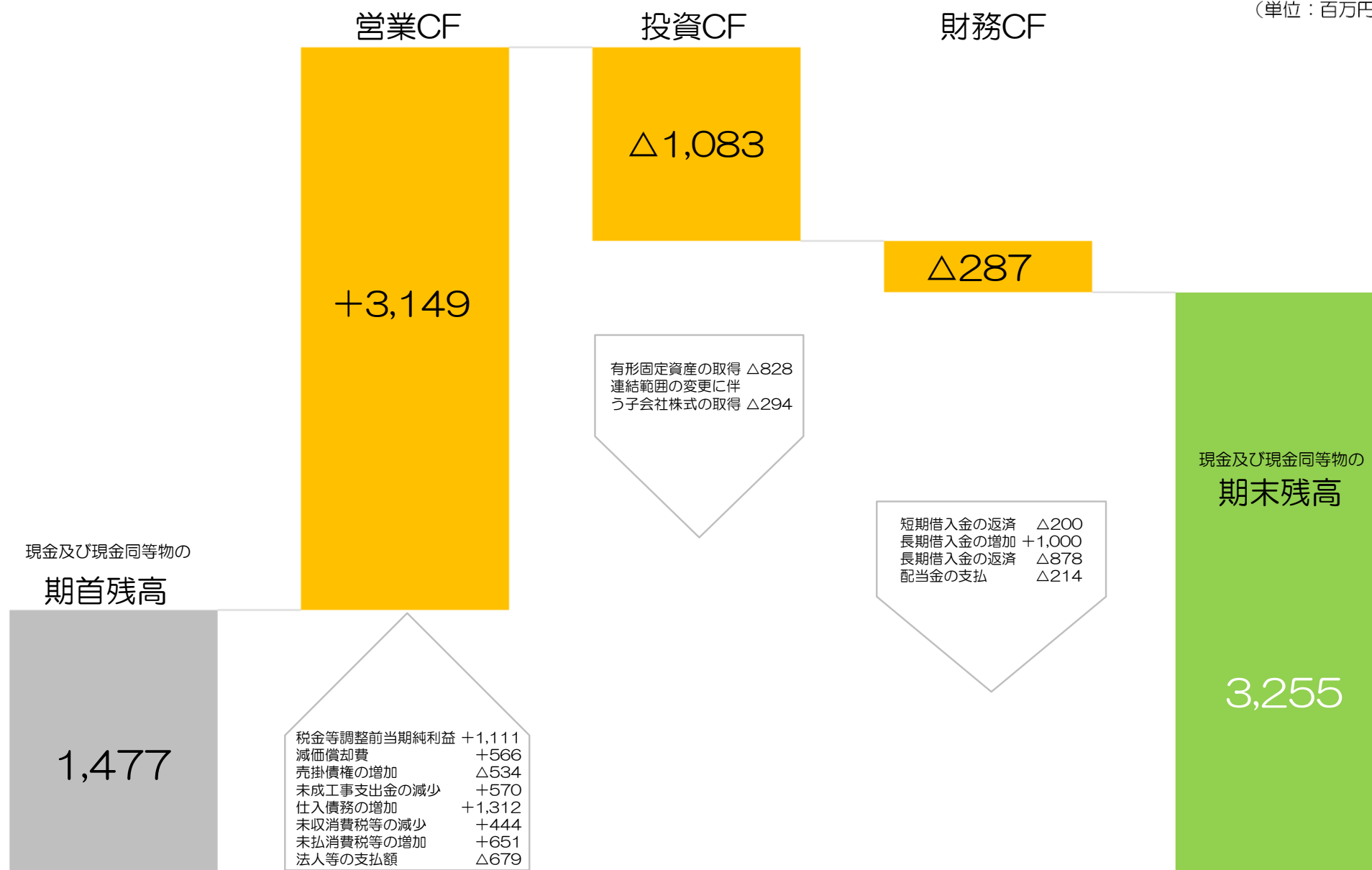
支払手形・工事	4,431
未払金等	
電子記録債務	2,403
短期借入金	3,053
預り金	2,276
長期借入金	1,826

### 純資産

資本金	2,379
資本剰余金	1,770
利益剰余金	6,103

# 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)





# 2023年3月期 連結業績予想

受注高は増加予想、売上高・利益ともに手持工事の順調な進捗により増収・増益見込み

(単位：百万円)

	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	前期比		コメント
			増減額	増減率	
受注高	37,691	43,430	5,738	15.2%	高速道路の4車線化ならびに維持補修更新市場へ営業強化を図ることにより増加予想
売上高	27,301	31,885	4,583	16.8%	大型の手持工事の順調な進捗により増収予想
売上総利益 (売上総利益率)	4,271 (15.6%)	4,520 (14.2%)	248	5.8%	売上高の増加に伴い増益予想
営業利益 (営業利益率)	1,048 (3.8%)	1,255 (3.9%)	206	19.7%	売上総利益の増加に伴う増益予想
経常利益	1,111	1,255	143	12.9%	同上
親会社株主に帰属する 当期純利益	775	840	64	8.3%	同上
1株当たり配当金 (配当性向)	9.0円 (20.9%)	10.0円 (21.4%)			前期より1.0円増配予想

